

令和4年10月19日

福東小学校 保護者様

輪之内町立福東小学校  
校長 浅野 哲男

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせ

秋冷の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に、4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果が8月に届きましたので、お知らせします。

### 1 学力調査の結果

今年度は、国語・算数・理科の3教科の学力調査が実施されました。福東小学校では、3教科すべてにおいて、正答率が全国平均を上回る結果となりました。各教科の概要は次の通りです。

国語	<p>○平均正答率は全国をやや上回っており、国語の学力はほぼ全国平均並みと言える。</p> <p>○文章の内容を読み取ったり、漢字を正しく書いたりすることは概ねできている。</p> <p>△記述式の問題での無回答（何も書かない）率が高く、「書く」ことへの苦手意識がうかがえる。</p> <p>△「2つ選ぶ」問題で1つしか選んでいない子が多く見られるなど、問題文をよく読んでいない傾向が見られる。</p>
算数	<p>○平均正答率は全国をやや上回っており、算数の学力はほぼ全国平均並みと言える。</p> <p>○「データの活用」と「図形」の領域では、学習した内容がよく身についていると言える。</p> <p>○やや難易度の高い、記述式で説明する問題や割合の問題での正答率が高い。</p> <p>△計算や数に関する基本的な問題で、全国平均より正答率が低い傾向が見られる。</p> <p>△<math>1050 \times 4</math>のように、空位（0）のある計算や最小公倍数を求める問題などで誤答が多かった。</p>
理科	<p>○平均正答率は全国を約6ポイント上回っており、理科の学力は全国平均よりやや高いと言える。</p> <p>○どの領域でも、学習した内容がよく身についていると言えるが、特に、「地球」に関する領域の学力が高い。</p> <p>△全国を下回ったのは全17問中3問で、鏡に反射させた日光が直進することの理解ができていないことと、示された実験や観察の結果から、何が言えるのかをまとめる力（結果をもとに考察する力）が弱いことが分かった。</p>

### 2 児童質問紙の結果

質問紙では、学校や家庭、地域での生活や活動の様子、学習意欲や自分の気持ちなどを問うアンケートに答えます。解答結果から、以下のようなことが分かりました。

<p>○「自分にはよいところがある」「学校が楽しい」と答えている児童の割合が全国平均を上回っている。</p> <p>○例年低い傾向にある、「将来の夢や目標をもっている」と答えた児童の割合が、全国平均をやや上回っている。</p>
---

- △家にある本の冊数は全国平均を大きく上回っているが、家庭での読書時間は全国平均をかなり下回っている。(学校ではテストの提出後などのちょっとした時間に、集中して読書できている児童が多い。)
- △国語と算数について「好き」「よく分かる」と答えている児童が全国平均を上回っているが、理科では低い傾向が見られる。
- △「毎日、同じ時刻に起きている・寝ている」という児童の割合が全国平均より低く、特に寝る時刻が不規則な児童が全国平均よりかなり多い。
- △平日(月～金)のテレビゲーム(携帯式・携帯電話を含む)をする時間とSNSや動画を視聴している時間が全国平均よりかなり長い児童が多い。特にゲームは73%の児童が2時間以上、27%は4時間以上している。
- △携帯電話やコンピュータの使い方についての家の人との約束についての質問では、「きちんと守っている」と答えた児童の割合が全国平均の約半分。家での約束がないと答えている児童の割合は全国平均の2倍になっている。

### 3 今後力を入れていきたいこと

1・2の結果を踏まえ、今後力を入れていきたいのは以下のことです。家庭でも、お子さんへの励ましや見守りをよろしくお願いします。

#### ◇学校として、今後さらに力を入れていきたいこと

- ・全教職員が一人一人の児童をよく見守り、積極的によさを褒めたり、悩み事を相談しやすい工夫をしたりすることで、どの子も「学校が楽しい」と言って登校できるようにし、児童一人一人の自己肯定感を高められるようにする。
- ・児童がどの教科の学習も「好き」「よく分かる」と言えるように、児童が意欲的に取り組みながら、「よく分かった」と実感できるような授業を創っていく。
- ・児童の実態を的確に把握し、苦手を克服できるように授業の展開を工夫したり、宿題の内容を工夫して繰り返し問題に取り組んだりできるようにする。
- ・自分の思いを文章に書いたり話したりする学習活動を、どの教科の授業でも取り入れることで、書く力や話す力、表現力を高めていく。
- ・情報モラルについて、道徳や学活などの授業で取り上げ、ゲームやパソコンなどの使い方について見直し、家族と話し合っ規則を決めたり、規則を守ったりできるようにする。
- ・読書を宿題にするなどして、家庭での読書の時間が増えるように、継続的な呼びかけや見届けをする。

#### ◇家庭で取り組んでいただきたいこと

- ・家庭でのテレビゲームやSNS、動画などについて、使用する時間やルールをお子さんと相談しながら決め、規則を守れるように励まし、規則が守れているか見届けをお願いします。
- ・毎日、だいたい決まった時刻に寝たり起きたりできるように(これも時刻をお子さんと相談して決めるとよいですね)、励まし、見届けることで、規則正しい生活リズムが確立できるようにしてください。
- ・毎日、家族との円滑なコミュニケーションが図れるようにし、各家庭がお子さんにとって心の安定を図る場所になるようにしてください。お子さんの将来のためには、ただ甘やかすだけでなく、ダメなことはダメと教えることも大切です。当たり前のことですが、厳しさの中にも愛情をもってお子さんに接してあげてください。